

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ふふ城ヶ島 新築工事	階数	地上4F
建設地	神奈川県三浦市三崎町城ヶ島字西山 686-1の一部、688-2の一部、691	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、法第22条地域	平均居住人員	68 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	ホテル,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年9月 予定	評価の実施日	2024年1月11日
敷地面積	6,101 m ²	作成者	株式会社 久米設計
建築面積	1,873 m ²	確認日	2024年1月11日
延床面積	4,954 m ²	確認者	株式会社 久米設計



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)								
<p>BEE = 1.1 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>★☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆</p> <p>標準計算</p> <table border="1"> <tr> <td>①参照値</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>②建築物の取組み</td> <td>86%</td> </tr> <tr> <td>③上記+②以外の</td> <td>86%</td> </tr> <tr> <td>④上記+</td> <td>86%</td> </tr> </table> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	①参照値	100%	②建築物の取組み	86%	③上記+②以外の	86%	④上記+	86%	
①参照値	100%									
②建築物の取組み	86%									
③上記+②以外の	86%									
④上記+	86%									

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 3.0</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.0</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.2</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.7</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.1</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.1</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.3</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 2.9</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>三浦市に建設される地上4階立てのホテルである。空地の緑化や節水器具の採用等により、環境負荷の低減に配慮している。</p>		<p>その他</p> <p>-</p>
<p>Q1 室内環境</p> <p>・開口部は遮音性能の高いものを採用することで、外部騒音の侵入を防ぎ、室内の音環境の向上に配慮している。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>・耐用年数の長い材料を使用し、建物の耐用性の向上に配慮している。</p> <p>・非常用発電機やUPSを設置し、災害時の各設備の機能維持について配慮をしている。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>・空地部分を積極的に緑化し、緑による良好な景観形成及び生物環境の保全に配慮している。</p> <p>・高温排熱機器を設置しないことで、温熱環境の向上に配慮している。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>・LED照明等の高効率な設備機器を導入している。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>・節水器具を使用し、水資源保護に配慮している。</p> <p>・リサイクル材やユニット部材の採用により、非再生性資源の使用量削減に配慮している。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>・高効率な設備機器を導入により、CO₂排出量の低減を図り、地球温暖化へ配慮している。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される